

個人情報保護方針

株式会社日本サイバー教育研究所（以下、「当社」という。）は、「個人情報の保護に関する法律」（平成 15 年 5 月 30 日法律第 57 号）、ならびに「学校における生徒等に関する個人情報の適正な取扱いを確保するために事業者が講ずべき措置に関する指針」（文部科学省告示第 161 号）の遵守徹底を図り、当社が運営するサイバー大学（以下、「本学」という）の正科生、科目等履修生、特修生等の学生、本学入学希望者、およびその関係者等（以下、「学生等」という。）に関する個人のプライバシー・個人情報の保護を経営の重要課題と位置付け、次のように取り組みます。

平成 21 年 6 月 1 日

株式会社日本サイバー教育研究所

代表取締役社長 大橋 一雄

1. 個人情報の定義

当社は、個人情報とは、生存する個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む。）と認識しております。

2. 個人情報の適切な収集と利用について

当社は、個人情報の収集にあたっては、その利用目的を可能な限り特定し、公表いたします。収集にあたっては、適法かつ公正な手段によりこれを行うものとし、学生等本人が自発的に提供しない限り取得することはありません。ただし、法律の定める例外（個人情報保護法第 23 条）については、学生等本人の同意なしに情報を取り扱うことがあります。

当社は、当社が運営する本学に入学する学生等に対しては、本学での履修、指導、お問合せへの対応、証明書類の交付、学生等への通知、連絡、その他本学の運営のために本人確認が必要となるため、個人情報の提供を求めます。そのほか、ホームページ上での情報提供や電子メール送信などのサービス、もしくは資料の郵送等を目的として、学生等の氏名・住所・電子メールアドレス等の提供を求めることがあり、この場合は個人を特定できる情報を提供しなくても特に問題はありませんが、当社ウェブサイトで提供する一部の情報やサービスを受けられないことがあります。

なお、未成年者からの個人情報の提供については、必ず保護者の方の同意のもとに提供いただくものとし、当社に提供された未成年者からの個人情報提供は、保護者の方の同意があるものと認識いたします。

収集した個人情報は、取得の経緯から利用目的が明らかである場合の他、以下の目的のために利用いたします。

- ① 学生等からのお問い合わせ、申請への対応、入試、入学、履修登録、証明証発行等
 手続のご案内や情報の提供等のサポート
- ② 学生等への入学、e-カレッジ、イベント、新規サービス及びキャンペーンその他本
 学に関するご案内（メルマガ配信を含む）
- ③ 社内におけるマーケティング調査および分析
- ④ 学生等の本人確認
- ⑤ 本学による学生等の入試判定、合否結果通知等の入学手続に必要な事項
- ⑥ 本学による学生等への学生証、その他の証明書類の交付
- ⑦ 履修登録、テストの受験、学生等への指導、質問対応、成績評価、単位認定、授業
 にかかわる情報の提供等、学生等による授業の受講に必要な事項
- ⑧ 本学の実施する式典、オリエンテーション、インターンシップ、ボランティア活動、
 その他学事の連絡、実施に必要な事項
- ⑨ その他、本学の運営に必要な事項

3. 個人情報の利用目的の変更について

上記以外の目的で当該個人情報を利用させていただく場合は、当社はその都度、その利用目的を明確にし、学生等本人に通知または公表いたします。

4. 個人情報の安全管理、従業員の監督について

当社は、「個人情報保護管理者」を設置し、情報セキュリティ管理責任者をその職に任命するとともに、法令、ガイドラインの遵守、内部規程の策定、自主点検・監査体制の整備その他個人情報の取扱いの監督を実施するために、その役割を明確にした体制を整備します。また、全役員、従業員（正社員、契約社員、教員、メンターを含む）、派遣社員、ならびに当社の情報資産を取り扱う業務委託先およびその社員に個人情報を取り扱わせるにあたっては、当該個人情報の安全管理が図られるよう、当該従業者等に対する必要かつ適切な監督を行います。

5. 委託先の監督について

当社は、個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合は、その取扱いを委託された個人情報の安全管理が図られるよう、委託を受けた者に対する必要かつ適切な監督を行います。

6. 個人情報の第三者提供の利用制限

当社は第三者へ学生等本人の事前の承諾無しに個人情報を提供、開示いたしません。ただし、次の場合には、第三者への提供、開示を行うことがあります。

- ① 法令に基づく場合。
- ② 人の生命、身体または財産の保護のために必要がある場合であって、学生等本人の同意を得ることが困難であるとき。
- ③ 公衆衛生の向上または学生等の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、学生等本人の同意を得ることが困難であるとき。
- ④ 国の機関もしくは地方公共団体またはその委託を受けたものが法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、学生等本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼす恐れがあるとき。

7. クッキーについて

当サイトのあるエリアには、「Cookie」が利用されることがあります。「Cookie」とは、ウェブページサーバー中のソフトウェア・アプリケーションによって発生するもので、ハードディスクに格納されるごく小さなテキストファイルです。

この「Cookie」によって、ご利用者のウェブサイトの利用記録（当サイトをどのようにナビゲートしたのか、どのページに興味をもたれたのか、どの程度当サイトにアクセスされたのか等の情報）はサーバーに蓄積されます。従いまして、ご利用者が当サイトを再び訪れる際には、「Cookie」がそれをサーバーに知らせ、当サイトをご利用者の趣向に適したものとすることができます。なお、「Cookie」の使用を望まれない場合には、ブラウザの基本設定等を変更することによって、「Cookie」を無効にすることができます。

8. アクセスログについて

当サイトでは、アクセスされた方の情報をアクセスログという形で記録しています。アクセスログには、アクセス日時、ドメイン名、IP アドレス、ご使用されているブラウザの種類などが含まれますが、個人を特定できる情報は含まれておりません。このアクセスログは利用状況に関する統計分析のために活用され、それ以外の目的で利用されることはありません。

ただし、本学が学生等に付与した ID・パスワードによる当サイトへのアクセスログは、各学生の学習状況の把握のために利用します。

9. 個人情報の開示・訂正・利用停止について

当社に提供された個人情報については、学生等本人から開示の申し出があった場合、合理的な範囲内で遅滞なく開示します。また学生等の個人情報について、本人から訂正または削除の申し出があった場合、本人確認の後、できるだけ速やかに訂正または削除を行います。ただし、第三者の権利を害する場合、法令に基づき第三者への開示等が求められている場合等法令に反する場合、または、学生等の本人確認、履修、証明書の発行等に支障が生じる場合、本学の在学記録自体の削除等、業務遂行に支障をきたすと当社が判断した場合は、開示、訂正、削除に応じない場合があります。なお、当社が学生等より取得した

個人情報の開示または訂正もしくは削除を行う際、実費を勘案した合理的な範囲内の手数料を頂戴する場合があります。

10. 法令等の遵守・継続的な見直しについて

当社は、個人情報保護に関する日本の法令その他の模範を遵守するとともに、この個人情報保護方針の内容を継続的に見直し、改善に努めます。また、遵守すべき法令その他の規範の変更にともない、個人情報保護方針を改定することがあります。その際は、学生等本人に通知または公表いたします。

11. お問い合わせについて

当社の個人情報保護に関してのお問合せについては、下記連絡先までお願いいたします。

〈個人情報・問合せ取扱い窓口〉

E-Mail: nyushi@cyber-u.ac.jp

受付電話番号：0120-948-318

受付時間：10：00-19：00（土日・祝日も受付）

講義科目：全体計画書 1（記入例）

氏名：〇〇〇〇先生

項目名	教員ご記入欄					
1. 科目名	古代エジプトの社会と宗教（文部科学省提出済の科目名をそのまま記入）					
2. 科目概要	古代エジプトの墳墓や神殿、住居などの調査で得られた考古・碑文資料を利用して、古代エジプト人の物質・精神文化を探る。その中でヒエログリフの基礎も学ぶ。古代エジプトの住居、墳墓と神殿の構造、装飾、そこで執り行われた祭祀活動について、欧文による研究文献も参照し、資料の分析方法を示しながら明らかにしていく。そこから研究手法の習得とともに、古代エジプト人の社会的な活動と精神世界がどのように結びついていたのかを考える。 (文部科学省提出済の科目概要をそのまま記入)					
3. 科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ピラミッドが、どのような社会的背景のもとで造られたのかを説明できるようになる。 2. 古代エジプト人の社会背景、死生観、祭祀活動に関する遺跡・遺物の具体的内容について正しく判断できる。 3. 遺跡見学することを想定しながら1つの遺跡をとりあげ、古代エジプト人の社会背景、死生観、祭祀活動を踏まえて論じることができる。 4. 古代エジプトの社会と宗教に関する遺跡の現状を知り、今後の文化遺産の保護や活用について自分の考えを明示することができる。 (この授業を受けて学生が習得できる内容を項目立て記入。学習する順序に並べて下さい。)					
4. 科目のチェックポイント	<p>【期末試験】</p> <p>〔対応する科目目標〕 科目目標 No. (3)</p> <p>〔出題方法〕 レポート形式</p> <p>〔出題内容／テーマ〕 「古代エジプトの遺跡を1つ選び、見学するときのテーマを設定しなさい。そのテーマに沿って、その遺跡について古代エジプトの社会的および宗教的な観点から論じ、遺跡見学のポイントについて過不足なくまとめなさい。」</p> <p>〔文字数〕 1200字以上1600字以内。</p> <p>〔評価の観点／チェック項目〕 1)遺跡の立地；2)遺跡の重要性；3)古代エジプトの宗教と社会に関する専門知識；4)遺跡を見学する際の的確な目的設定（遺跡を見学する際のテーマ設定に無理がないか）指示通りの分量であることと、この4点が論じられているかどうかを評価する。各項目を25点配分とし、誤った記載や、主観的な表現等があるごとに減点する。</p> <p>【小テスト】</p> <p>〔対応する科目目標〕 科目目標 No. (2)</p> <p>〔分量〕 各回8問 授業の内容理解度を確保するための設問を出題</p> <p>【レポート】</p> <p>〔対応する科目目標〕 科目目標 No. (1)</p> <p>〔出題内容／テーマ〕 「あなたの友人からピラミッドは宇宙人が建てたの？と聞かれました。あなたならどのように答えますか？あなたと友人との会話形式で、500字以内にまとめなさい。」</p> <p>〔文字数〕 500文字以内</p> <p>〔評価の観点／チェック項目〕 第1～4回までで学んできたピラミッド建造の社会的背景についての知識（古代エジプトの王権観、ピラミッド・テキストでの記述、ピラミッド建造に携わった人々について）を引き合いに出しながら、非学問的な主張に対して反論することができるかを評価する。</p> <p>【ディベート】</p> <p>〔対応する科目目標〕 科目目標 No. (4)</p> <p>〔出題内容／テーマ〕 「第14回の講義で学んだヌビア救済キャンペーンが、今後の文化遺産の保護、活用を考える上でどのような意義のあるものであったか、自分の思うところを書きなさい。」</p> <p>〔評価の観点／チェック項目〕 ヌビア救済キャンペーンの内容を正しく理解し、客観的に文化遺産の保護、活用について述べられているかを評価する。</p>					
5. 教科書参考資料	教科書：なし（授業に必要な教科書があれば記入） 参考資料：J. ベインズ, J. マレック（吉村作治訳）『図説 世界文化地理大百科 古代のエジプト』朝倉書店 1983年					
6. 履修前提条件	基礎講義科目「古代エジプト史概論」あるいは基礎演習科目「エジプト学基礎演習」の単位を既に取得していること。（授業を受けるために必要な基礎知識や技能等を記入）					
7. 成績評価バランス						
視 聴	平常点	レポート	小テスト	期末試験	合 計	
0%	10%	10%	30%	50%	100%	

付録 2

講義科目：全体計画書 2（記入例）

氏名：〇〇〇〇先生

回	回タイトル	内 容	課 題	対応する 科目目標 No.
第 1 回	オリエンテーションと ギザのピラミッド	講義のオリエンテーション、ギザの立地、ギザ遺跡 の概要、ピラミッド複合体	小テスト	1 2
第 2 回	ピラミッドと王権	ピラミッド複合体の発達、ジェセル王の階段ピラミッ ド、ピラミッド複合体の装飾、アブ・シール遺跡	小テスト	1 2 3
第 3 回	ピラミッド・テキスト	ピラミッド・テキストのあるピラミッド、ピラミッ ド・テキストの形式、ピラミッド・テキストの内容、 ピラミッド・テキストとファラオの来世観	小テスト	1 2 3
第 4 回	古王国時代の高官とピ ラミッド建造に従事し た人々	ピラミッド建造方法、ピラミッド建造労働者の居住 区、ピラミッド建造労働者と高官の墓地、石造マス タバ墓と日乾レンガ造のmastaba墓	小テスト レポート	1 2 3
第 5 回	中王国時代のピラミッ ドとアビドス遺跡	古王国時代から中王国時代へ、第 12 王朝のピラミッ ド、第 6 王朝のピラミッドとの比較、アビドスの概 要と初期王朝時代の王墓	小テスト	2 3
第 6 回	オシリス信仰の聖地	センウセルト 3 世の葬祭施設、オシリス神の大祭、 イアフメス王の空墓、セティ 1 世葬祭神殿	小テスト	2 3
第 7 回	コフィン・テキストと 死者の書	葬祭文書、中王国時代の棺、コフィン・テキストの 呪文、死者の書の呪文	小テスト	2 3
第 8 回	古代エジプトの神殿： 発展とルクソール東岸 の神殿	エレファンティネ島のサテト神殿、ルクソールとア メン神殿、ルクソール神殿、オベトの祭り	小テスト	2 3
第 9 回	ルクソール西岸の神殿	ハトシェプスト女王神殿、アメンヘテプ 3 世神殿、 セティ 1 世神殿とラメセウム、ラメセス 3 世神殿	小テスト	
第10回	王家の谷と第 18 王朝 の王墓	王家の谷の立地、第 18 王朝の王墓、アメンヘテプ 3 世王墓とアムドゥアト書、アマルナ遺跡の王墓	小テスト	2 3
第11回	王家の谷とディル・ア ル＝マディーナ	トゥトアンクアメン王墓、ラメセス朝期の王墓、 ディル・アル＝マディーナ遺跡、職人の居住区の成 り立ち	小テスト	2 3
第12回	職人の社会と貴族の墓	職人の住居、職人の暮らし、谷の祭りと貴族の墓、 貴族墓の構造とセンネジェム墓の壁画	小テスト	2 3
第13回	太陽信仰とナイル・デ ルタおよびシナイ半島 の遺跡	ヘリオポリス遺跡、太陽信仰、タニスとベル・ラメ セス、シナイ半島：セラビト・アル＝カーディムと 聖カテリーナ修道院	小テスト	2 3
第14回	プトレマイオス朝と ヌビア遺跡救済キャン ペーン	アレクサンダーとシーワ・オアシス、アレクサンド リア、エドフ・ホルス神殿、ヌビア遺跡救済キャン ペーン	小テスト ディベート	2 3 4
第15回	総括	授業の総括	小テスト レポート形式 の期末試験	1～4
パワーポイント以外に使用する資料（資料映像など） 第 3 回 資料映像（10 分程度）				

回別計画書（記入例）

○○○○先生

第3回	回 タ イ ト ル			
		ピラミッド・テキスト		
1. 回学習目標	ピラミッド・テキストについて理解する。			
2. 章学習目標	1. ピラミッド・テキストはどのようなものなのかを判断できる（回学習目標に対応する目標を具体的に記入）			
	2. ピラミッド・テキストはどのような形式なのかを判断できる			
	3. ピラミッド・テキストにはどのような内容が書かれているのかを判断できる			
	4. ピラミッドの遺構配置とピラミッド・テキストから、ピラミッドの機能はどのようなものかが判断できる			
3. 章 構 成	章タイトル	講 義 概 要	対応する章学習目標	使用する資料 (内容・媒体・数量等)
第1章	ピラミッド・テキストのあるピラミッド	ピラミッド・テキストについての概要と、ピラミッド・テキストのあるピラミッドについて説明する。	1	PPT 2枚, 動画 10分
第2章	ピラミッド・テキストの形式	ウナス王のピラミッド内部, ピラミッド・テキストの配置, ピラミッド・テキストの写真, ピラミッド・テキストの形式的特徴(石, ヒエログリフ)について説明する。写真を見せる。	2	PPT 10枚程度
第3章	ピラミッド・テキストの内容	ピラミッド・テキストの解釈について説明する。	3	PPT 10枚程度
第4章	ピラミッド・テキストとファラオの来世観	古王国時代のファラオの来世観(第2回ピラミッド複合体と合わせてピラミッド・テキストから)について説明する。	4	PPT 10枚程度
4. 課 題	小テスト8問を以下の内容で実施する。(章学習目標に到達したかどうかを判断する問題文を記入)			
	<p>第1問: ピラミッド・テキストとはどのようなものですか? (第1章より) 解答キーワード: 呪文, 埋葬, 葬祭</p> <p>第2問: ピラミッド・テキストはどこに書かれていますか? (第1章より) 解答キーワード: ピラミッドの外装石, ピラミッド内の玄室, ピラミッド内の下降通路</p> <p>第3問: ピラミッド・テキストはどのような形式ですか? (第2章より) 解答キーワード: ヒエログリフ, 石材, 永遠化</p> <p>第4問: ピラミッド・テキストはいつの時代から見られますか? (第2章より) 解答キーワード: 第3王朝, 第4王朝, 第5王朝</p> <p>第5問: ピラミッド・テキストにはどのような内容が書かれていますか? (第3章より) 解答キーワード: 再生, 天空, 冥界</p> <p>第6問: ピラミッド・テキストと関係のある神様はだれですか? (第3章より) 解答キーワード: ラー, オシリス, ホルス</p> <p>第7問: ピラミッドの遺構配置とピラミッド・テキストから, ピラミッドの機能はどのようなものと言えますか? (第4章より) 解答キーワード: 周極星, 階段, 死の克服</p> <p>第8問: ピラミッド・テキストが書かれ始めた時代のピラミッドの大きさはどのようなものですか? (第4章より) 解答キーワード: 最大規模のピラミッド, 中規模のピラミッド, 最小規模のピラミッド</p>			
5. 参 考 資 料	参考資料: マーク・レーナー (内田杉彦訳)『図説 ピラミッド大百科』 東洋書林 2001年			

用語集

	用語	説明
第1章	LMS	Learning Management System。インターネット上で教授活動を行うためのツールを備えた学習管理システムのこと。
	グループウェア	グループ内の情報共有システム。
	メッセージング・システム	メールシステムのこと。
	SNS	Social Network Service。 インターネット上で人とつながりを持つことにより、社会的なコミュニティを構築するサービスのこと。
	オンデマンド	利用者が要求した時に提供される方式のこと。
	ダッシュボード	デスクトップインターフェイス。
	FD	Faculty Development。教員の職能開発。
第2章	シングル・ログイン	1回のログインで異なるシステムを利用できること。
	コンピテンシー	① 個人が習得しているスキル、知識、態度などの能力。 ② 卒業時に学生が身に付けている学士力。
	シンクロック認証	携帯電話を使用した本人認証システム。
第5章	メンター	教員と学生の間で、履修や学習のスムーズな進行をサポートするスタッフ。
	協調学習	互いに交流することによって学ぶ学習方法。
	ドロップアウト	途中で履修をやめること。
第7章	インストラクショナルデザイン	(目標を達成するために) 効果的で、効率的な学習活動をシステムチックに設計する手法のこと。
	ADDIE モデル	インストラクショナルデザインのモデル。分析 (Analysis)、設計 (Design)、開発 (Development)、実施 (Implementation)、評価 (Evaluation) のプロセスの頭文字をとっている。
	インストラクショナルデザイナー	インストラクショナルデザイン手法を用いた教授活動を設計・支援する専門家。
	コンテンツスペシャリスト	eラーニングの教材を開発する専門技術者。
	ガニエの9教授事象	学習心理学者ガニエが提唱。学びを支援する9つの外的な働きかけのこと。
	オーサリング	映像やテキストなどを統合して一つのコンテンツにすること。
第8章	SD	Staff Development。職員の職能開発。

e ラーニング研究

2010年（平成22年）11月25日 印刷

2010年（平成22年）11月30日 発行

発行者 サイバー大学

〒813-0017

福岡県福岡市東区香椎照葉3-2-1

TEL 092-674-3337

編集 サイバー大学紀要委員会

印刷所 株式会社 外為印刷

■サイバー大学について

URL <http://www.cyber-u.ac.jp/>

■サイバー大学へのお問い合わせ

e-mail nyushi@cyber-u.ac.jp

